

## 6 未来を担う青年農林水産業者

部門	氏名・住所	受賞理由
園芸 ・ 農産	えんどう こうた 遠藤 耕太  伯耆町	<p>①平成16年に22歳で就農し、当初は水稻、花壇苗の栽培もしていたが、平成26年に事業主になってからは白ねぎ、メロン、ほうれん草を主として経営に取り組んでいる。</p> <p>②年間の売上も年々安定した売上高を維持し、今後、地域の畑地灌漑整備事業の進捗に合わせて、ビニールハウスの棟数を増やし、メロン、ほうれん草の栽培規模を拡大予定。</p> <p>③地域では、集落区長を努めるなど、地域を担う若手農業経営者として、期待されている。</p>
園芸	かわはら あつし 川原 篤史 かわはら 川原 ルミ  鳥取市	<p>①平成24年に認定新規就農者になり、鳥取市賀露地区で白ねぎ周年栽培を中心に現在160aで営農。</p> <p>②新規就農者として営農開始後、着実に技術を習得、実績を上げ、夫婦で令和3年9月に「C a m e 1プランタージ合同会社」を設立し、さらなる規模拡大や雇用の創出が期待される。</p> <p>③実直に営農する姿から地域の信頼を得ており、後継者のいない地主等から農地の管理を頼まれるなど、賀露地区の担い手となっている。</p> <p>④自ら県内の優秀農家を訪ね積極的に新しい情報の収集や交流を行うなど経営発展のための努力を重ねている。</p>
園芸	さねとう ひかる 實藤 光  琴浦町	<p>①平成27年にアグリスタート研修生8期生として寺岡ファームで研修し、平成28年2月に夫婦で就農し、現在、琴浦町の基幹品目であるスイカ36a、ブロッコリー40aを栽培。</p> <p>②令和2年より琴浦西瓜生産部役員として部会活動に尽力。</p> <p>③他の生産者からの信頼も厚く、温厚篤実で責任感が強く、未来の農業の振興発展を担う若きリーダーとして期待される。</p>
水産	せざき つかさ 妹崎 功  米子市	<p>①境港地区において、平成24年から国の漁業研修事業を活用し、漁労技術をはじめ操船や機器の取り扱いなどの技術・知識を幅広く習得。その後、平成26年に鳥取県漁業経営開始円滑化事業により新船(4.9t)を建造し独立経営を開始。</p> <p>②現在、小型底曳網漁業と素潜り漁を中心に、安定した水揚げを確保。</p> <p>③若手漁業者として、様々な事業や行事等にも精力的に参加するなど、周囲の評価も高く信頼され、鳥取県漁業協同組合境港支所において、地元漁業の将来を担う若手漁業者として期待されている。</p>

部門	氏名・住所	受賞理由
園芸	つぼくら ひろかず 坪倉 弘和  日南町	①平成28年にUターンし、日南町の農業研修生として1年間研修を積んだのちに平成29年に独立就農。着実に経験を重ねてしっかりとしたトマト栽培に取り組んでいる。 ②就農直後から安定して高い営農成績を維持しており、ハウス内の整理やコスト、社会情勢についての意識も高く、令和3年産は町内全体で第3位の反収成績を収めるなど、若手生産者の手本となっている。 ③地域の人・農地プランの話し合いに参加して地域の将来像を描いたり、基盤整備に向けた協議に取り組んだりして将来を担う若手として根付いている。
水産	なかむら さとし 中村 聡  岩美町	①平成8年より沖合底曳網漁船の船員として乗船し、数々の厳しい漁業経験を積む中で、まじめな姿勢から周囲の評価も高く、漁業者として厚い信頼を得ている。 ②機関等のメンテナンスを手掛ける機関士としての経験も豊富で、機関長という責任ある地位として、安全で安定した漁業経営を支えており、沖合底曳漁業の将来を担う漁業者として期待されている。
園芸	にのみや せいき 二宮 聖貴  大山町	①平成14年から家業の芝栽培を行い、平成28年には経営移譲、芝面積の拡大とともに、新たに自然薯、白ねぎ栽培に取り組む。 ②白ねぎ栽培における作業効率化のための機械化や試験栽培・新技術の積極的導入、安定生産へ向けた強い探求心を持っており、品種・肥料等多種の試験取組も積極的に実施している。 ③大山町の雇用マッチング制度（スキマ時間プロジェクト）を活用した作業の効率化と人手不足の解消し、今後も増反する計画。
園芸	ひらのぶ かずや 平信 和也  北栄町	①平成16年に親元就農し、19年目。令和2年に経営移譲を受け、経営主として農業に従事。両親、妻と4人で、すいか、秋冬野菜として葉物野菜を栽培し、スイカを経営の柱とし、ハウス後作にほうれん草、小松菜、中玉トマトを栽培し、施設の有効利用を図っている。 ②ほうれん草は地域の中核として、平成24年からは北栄町ハウレンソウ部会役員、令和4年からは同部会長として取り組んでいる。 ③周囲の生産者の信頼も厚く、部会の牽引役としてほうれん草を中心に葉物産地としての発展にも精力的に取り組んでいる。

部門	氏名・住所	受賞理由
園芸 ・ 農産	<small>もりした しんじ</small> 森下 真次  伯耆町	<p>①平成27年に親元就農促進支援事業交付金を活用して就農し、白ねぎ栽培を主として経営し、令和元年に経営継承。</p> <p>②白ねぎの栽培は、現在100a前後で毎年栽培し、JA鳥取西部伯耆町白ネギ部会からは平成30年に4000ケース以上の部で部門表彰。</p> <p>③ほ場毎の生育状況に応じた適切な管理の徹底と、コスト削減に取り組むことで、収益の上がる農業を目指している。</p> <p>④集落の役員も務め、地域の農業者と協力しながら経営的にも持続可能な農業を目指しておられ、地域を担う若手農業者として期待されている。</p>
農産 ・ 園芸	<small>やまね ともかず</small> 山根 朋和  八頭町	<p>①水稻を主とした農業経営を開始し、白ねぎ等野菜生産との複合経営による規模拡大を図っている。</p> <p>②年齢層を問わず周囲の信頼が厚く、新規就農者の相談役を担う傍ら、若年層の雇用及び技術伝達を図り、地域農業の牽引者となっている。</p> <p>③白ねぎ栽培の高い技術力と人望が評価され、令和元年よりJA鳥取いなば船岡白ねぎ生産部指導部長、令和2年より八頭地区農業士会の副会長を務めている。</p>